

しのばず自然観察会より 2016-06 2016.07.03

2016年8月の活動 不忍池 蓮見 (雨天実施)

と き：8月14日 (日)

集 合：午前9時30分 東京メトロ (地下鉄) 千代田線湯島駅根津寄り改札口 (地下)
(緑の小旗が目印)

持ち物 筆記用具、弁当、飲み物、雨具、敷物、あれば双眼鏡

参加費 200円

上野動物園入園料 600円 (65歳以上の方は年齢証明があると半額です)

8月の観察会は、恒例となった不忍池の蓮見です。朝3時ころより花が開くそうですが、午前中は十分楽しめます。暑さ対策を！ 昼前に上野動物園に入り、動物園池のハス見、水路跡確認。終了後、谷中で通信発送作業と懇談をします。

2016年6月の活動 上野公園・不忍池自然と歴史的環境めぐりより

6月の環境週間恒例の上野めぐりは、環境の日の5日に15名の参加で行われました。夜来の雨で、参加者は予想を大幅に下回り、9時に準備に集まった会員はがっかり。それでも歩き出すと雨が上がり、暑くなく寒くなく、観察日和となりました。

ピンオークの樹液が下見の時より少なく、味もいまいち。ショウジョウバエを見かけた。旧寛永寺本坊表門は漆塗りが落ち着いていて、ガラスばりのピカピカ感は薄らぎましたが、上野戦争の大砲の弾の跡の穴の周りは、多くの人が触ったせいで、白く縁取りができていました。

時の鐘は昨年から、撞き方が少し変わったようで、捨て鐘の3つを始めにまとめて撞いてから、12時の12回の鐘をゆっくり撞いていました。



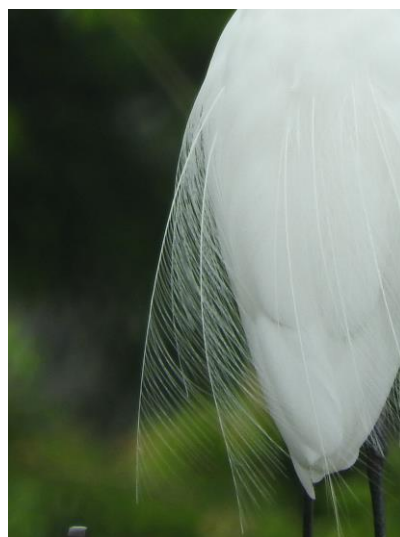
時の鐘を撞く



不忍池入り口の工事現場

不忍池の入り口で行われている改造工事は、旧動物園出口専用口前が掘り返され、切られずに残った樹木も根元がすっかり切られていました。このままコンクリートで固められるのでしょうか。そういえば25年ほど前、不忍池の園路が舗装された時、立木の周りはコンクリートで固められ、根元の土は半径3~40cmしかなく、雨水と空気を絶たれてイチョウが小さな小さな葉しかつくれずに枯れていきました。そこでわかったのは、わずかな根元の土も見せ掛けだけで、下はコンクリートの瓦礫が詰まっていた。こんなことが再現されるのでしょうか。

バンやカイツブリの子育てがここ数年ほとんど見られず、この日もゴイサギすらやっと1羽という寂しさでしたが、助っ人現る！ ダイサギです。蓑羽（みのばね）と呼ばれるレースのような羽根を肩から足元にたらして美しいこと。通常の羽根は脈から枝が出て、さらにもう1回枝が出て隣の枝だと絡まるために、羽根は1枚の平たい構造になります。蓑羽は枝の間が空いていて、2番目の枝は短く、隣同士でからまないの、各枝が独立して垂れ下がるのだそうです。



ダイサギと蓑羽のアップ画像

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: www.ac.auone-net.jp/~sinobazu/
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2015年以前の会費未納の方も忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。